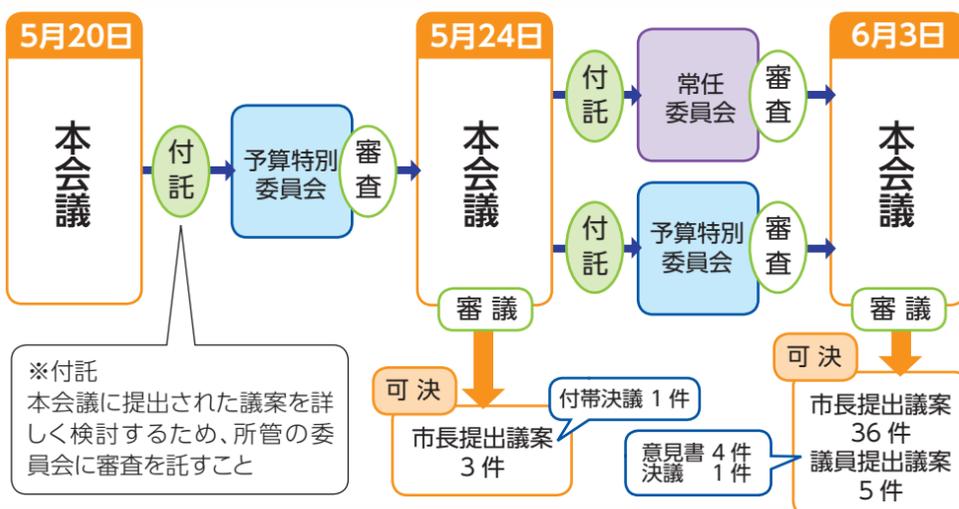


5月20日～6月3日
5月市会
の報告平成28年度補正予算等
について審議しました

▶5月市会 審議の流れ

5月20日の本会議で市長から提出された平成28年度補正予算などの議案27件は、予算特別委員会や常任委員会に付託し、詳しく審査したうえで、5月24日及び6月3日の本会議で、追加議案12件とともに、全て可決しました。また、議員提出による議案7件のうち、5件についても可決しました。

なお、5月24日に可決された補正予算議案には、付帯決議を付けました。



補正予算の概要

○文化庁の京都移転の推進
500万円

文化庁の京都移転に向けては、市会でも活発に議論を行い、地方創生の一層の推進を図るため、移転を求める意見書を国へ提出するなど、積極的に取り組んできました。



京都市会マスコットキャラクター
またきち マタリーヌ

- 二条城施設整備等 2億2,800万円
- 貧困家庭の子ども等に係る実態調査等 1,000万円
- 国民健康保険事業特別会計における繰上充用 3億円
- 焼却灰溶融施設プラント設備工事に係る損害賠償等請求訴訟に要する経費 4,800万円

6月3日の本会議で決議しました!

控訴に当たり、一審の判決結果を徹底的に検証・分析し、二審において全庁挙げて全面勝訴に向け全力で取り組むよう、決議しました。

▶決議の全文は、市会ホームページへ!

市会議長のご挨拶



京都市会議長
津田 大三
〔中京区選出
自民党市議員〕

この度、市会議長として2年目を迎え、京都市会への市民の皆様への御支援に改めて厚く感謝申し上げます次第です。

地方創生が重要な国家戦略として取り組まれる中で、この3月には文化庁の京都への全面移転が決定し、京都が文化の力で日本を創生し、世界に貢献するという大きな役割を担いました。これまで以上に京都の力が問われるなか、議会の果たすべき役割も、極めて大きいものとなっています。

京都市会では、行政に対するチェック機関としての機能はもとより、情報発信の強化をはじめとする様々な市会改革の取組を進めています。今後とも、市民の皆様へ信頼される議会を目指し、一層努力してまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

市会副議長
就任のご挨拶

京都市会副議長
曾我 修
〔伏見区選出
公明党市議員〕

この度の5月市会において、第91代の市会副議長に選任されました。議長の補佐役として、その職責の重さを日々感じております。

人口減少社会への挑戦、京都創生、健康長寿や安心安全のまちづくりなど、多くの課題に直面する中、二元代表制の一翼を担う京都市会といたしましても、市民の皆様の期待に応えるべく、政策提案・立案能力に磨きをかけていかなければなりません。

市民の皆様が、議会活動に御関心を持っていただき、身近に感じることのできる議会づくりに、津田議長と共に全力を挙げて取り組んでまいりますので、御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。

4月開会市会
通年議会の会期を333日間に決定

4月26日に4月開会市会を開催し、通年議会における平成28年定例会の会期を、平成28年4月26日から平成29年3月24日までの333日間に決定しました。